

I インドとの日本学術振興会二国間交流事業

Geetha Mohan 教授を研究代表者として令和5年度日本学術振興会二国間交流事業「日本とインドとの気候変動対応型のレジリエントな農業技術の発展と共有」をインド工科大学カラグプル校および国際半乾燥熱帯作物研究所(ICRISAT)において2024年3月6-8日に実施しました。日本側の参加者は、研究代表者である Geetha Mohan 教授、和田直也センター長、堀江典生教授のほかに本学大学院生峯村友都氏と稲垣智也氏、株式会社富山環境整備の谷口秀誉総務部長、松井菜摘氏が参加しました。

インド工科大学は私たちを温かく迎え、インド工科大学カラグプル校 Virendra Kumar Tewarias 学長を表敬訪問するとともに、同校農業・食品工学部長 Dillip Kumar Swain 教授より同学部研究室と実験農場の興味深い紹介が行われました。

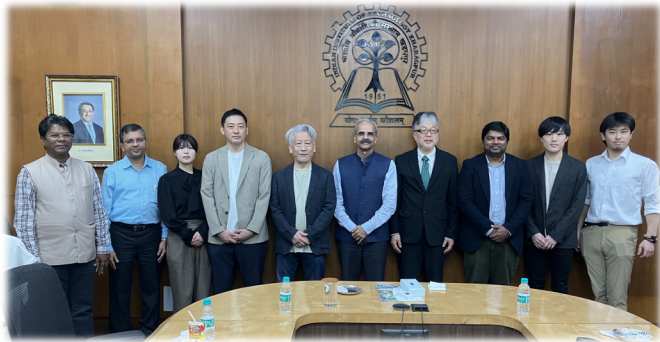


写真) インド工科大学カラグプル校学長表敬訪問

最初の二日間にわたるセミナーは“Climate Smart Farming Resilient Technologies and Practices in Japan and Opportunities for Indian Farmers and Agri-Tech Start-up Entrepreneurs”と題され、インド工科大学カラグプル校で実施しました。日印両国の研究者および企業・農家のみなさんが一同に会し、気候変動に適応的な農業技術や持続可能な農業のあり方に関する知識や洞察を共有しました。富山環境整備の松井氏の発表に対して特に高い関心が示されました。また、ポスターセッションも開催され、日本から参加した本学院生と富山環境整備のポスター発表が行われ、多くの関心を集めることができました。最後には総括としてパネルディスカッションが行われ、どのように日印間で産業界と学术界が協力して持続可能な農業を実現していくかが論じられました。

インド滞在最終日はハイドラバードにある ICRISAT を訪問し、同研究所の研究員のみなさんと知見の共有を行うとともに、広大な敷地をもつ ICRISAT の施設や実験農場の見学を行いました。参加者一同、つきっきりでお世話いただいた同研究所 Mukund D Patil 博士に深く感謝し、これを期に、日印協力が富山においても展開できればとの想いを共有しました。

II 市民向けシンポジウム「持続可能な地域の森林資源の利用：富山県の挑戦」

2024年3月21日に富山国際会議場において環日本海学術ネットワーク特定テーマ研究支援事業シンポジウム「持続可能な地域の森林資源の利用：富山県の挑戦」が開催されました。このシンポジウムでは、富山県の資源循環型・環境保全型森林利用を考える富山県の民間の挑戦を事例として、地域資源を活用した森林資源利用のあり方について議論を深める目的で開催しました。

シンポジウムでは、筑波大学生命環境系の立花敏准教授と北海道大学大学院環境科学院の Avtar Ram 准教授をお招きして講演を行って頂くとともに、和田直也教授を座長として、堀江典生教授と Chakraborty Shamik 准教授、立花敏准教授、Avtar Ram 准教授に加え、富山県内で森林資源の持続的利用に取り組んでいる実務家として、南砺森林資源利用協同組合の福村仁志氏、株式会社 JAPANS の川森清氏、そして、株式会社グリーンエネルギー北陸の加治幸大氏の三人をパネリストとして、森林資源利用・富山県の挑戦と題するパネルディスカッションを行いました。

福村氏による南砺市の地域資源を活用した持続可能な循環型社会の構築を目指す「エコビレッジ構想」に基づく木質ペレットによる様々な挑戦、川森氏による漆の再生能力の高さと資源として枯渇しつつある漆および伝統産業の再生を念頭においた挑戦、加治氏の「森海つなぐでんきプロジェクト」における挑戦など、富山での地域資源循環・利用の新たな挑戦は聴衆の関心を集めるとともに、今後、民間と大学とが連携していくことの重要性がパネルディスカッションで論じられました。



写真) チャクラボルティ准教授の総括報告

III GRASS 国際女性デー

GRASS は、国籍、民族、言語、宗教、ジェンダーにおいてもダイバーシティのあるセンターです。このダイバーシティは私たち GRASS にとってとても大切なものです。国際女性デーにおいて、ほんの一部ではありますが、GRASS の活動に関わる女性メンバーに敬意を込めてお祝いと感謝の花束を贈呈しました。参加者は、ジェンダー平等に向けた長い歴史的な闘いと、いまだに女性

が直面する様々な問題を振り返るとともに、LGBTQを含むそのダイバーシティを大切にしていくことの意義をGRASSという小さな組織ではありますが、再確認する機会にしました。



写真) 国際女性デーの花束をもつ GRASS 関係者のみなさん

IV 北東アジア Future Leadership Program

本学大学院持続可能社会創成学環 2 年生 (2024 年 3 月現在) 王采文さん (指導教員: 堀江教授) が、北東アジア学会・新潟県主催の令和 5 年度学生プレゼンテーションコンテスト「北東アジア Future Leadership Program (FLP)」の予選を勝ち抜き、本選 (2024 年 2 月 3 日新潟県民会館小ホールにて開催) において優秀賞を受賞しました。発表論題は、「日本の華人コミュニティにおける台湾人アイデンティティの発露」でした。また、堀江教授が指導する経済学部 3 年生森田彩可さんも新潟県知事賞を受賞しました。発表論題は、「古着の国内循環に向けた産学官連携と消費者の意識改革」でした。



写真) 左は王采文さん、右が森田彩可さんの受賞式の様子

V エストニア生命科学大学農業環境科学研究所との学術交流協定締結

GRASS は、このたびエストニア生命科学大学農業環境科学研究所と学術交流協定を締結しました。和田直也センター長と Geetha Mohan 教授は、同研究所を 2 月 9 日に訪問し、協定調印を行いました。本協定は、両研究機関が持続的発展、農業、森林、環境科学の分野において研究協力を促進することを目的としています。当日は、エストニア生命科学大学 Ülle Jaakma 学長を表敬訪問するとともに、農業環境科学研究所 Aret Vooremäe 所長とともに調印式を行いました。

早速、エストニア生命科学大学から 4 月に交流協定締結に尽力いただいた Indrek Melts 先生と若手研究者 Aki Kadulin さんが来日し、約 2 週間にわたって GRASS において研究を実施しています。



写真) 調印式の様子



写真) 左から Indrek 先生、堀江教授、和田センター長、Ülle Jaakma 学長、ギータ・モハン教授

GRASS NEWS

【イベント・往来】

2024 年 1 月 30 日: 国連大学物質フラックス・資源統合管理研究所 (UNU-FLORES) の Daniel Karthe 教授とドレスデン工科大学 Jürgen Stamm 教授が GRASS を訪問され、今後の学術協力の可能性に関して意見交換を行い、本学学生を前に講演を行いました。

2024 年 3 月 13 日: Stockholm Resilience Center の Thomas Elmqvist 教授が GRASS Global Research Seminar において “Resilience and Sustainability for Transformation in the Urban Century” と題する講演を行いました。

【国際誌掲載論文】

Yang, J., Du, Y., & Ma, T. (2024). Assessing the carbon mitigation impact of energy choices in China: a focus on renewable energy and thermal efficiency improvement. *Applied Economics*, 1-18.

Horie, N., Iwasaki, I., Kupets, O., Ma, X., Mizobata, S. & Satogami, M. (2024) Wage-Experience Profiles in China and Eastern Europe: A Large Meta-Analysis, *Journal of Economic Surveys*.

Dona, C.G.W., Mohan, G. and Fukushi, K., 2024. Multifunctionality benefits of small-scale urban agriculture. *Sustainability Science*, 1-21.

Dona, C. G. W., Mohan, G., & Fukushi, K. (2023). Factors Affecting Farmers' Perception of Greywater Irrigation in Urban Agriculture in the Colombo District, Sri Lanka. *Journal of Water and Environment Technology*, 21(6), 309-322.

Rimba, A.B., Arumansawang, A., Utama, I.P.W., Chapagain, S.K., Bunga, M.N., Mohan, G., Setiawan, K.T. and Osawa, T., (2023). Cloud-Based Machine Learning for Flood Policy Recommendations in Makassar City, Indonesia. *Water*, 15(21), 3783.



〒930-8555 富山県富山市五福3190
研究推進機構 サステナビリティ国際研究センター



<http://www3.u-toyama.ac.jp/grass>